

子育てを楽しむ

産後ケア × 母子手帳



産後ケア施設baby.mam 代表
岩見香織



質問

産後ケアが必要な

人って

だれ？



「産後ケア」
は
全ての産後
に必要



本日の流れ

- 1.産後ケアって？
- 2.産後ケアの必要性
- 3.利用者の声
- 4.利用の現状
- 5.現場で感じるリアルな声
- 6.母子手帳に期待すること



産後ケア施設 ベビママ

baby.mam

京都初の産後ケア施設として



母子受け入れ
延べ100組以上

行政の
「産後ケア事業」
の受託

産後ケアって？

- ・ 産前産後サポート事業

妊娠中～産後1年

- ・ 産後ケア事業

分娩先退院後～一定期間

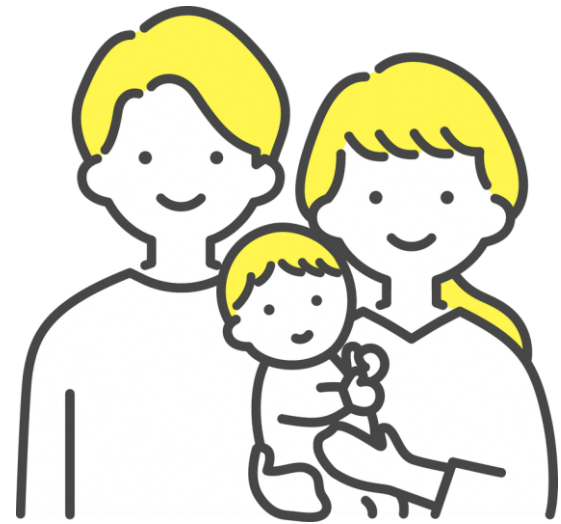
- ・ 産前産後サポート事業

伴走型 時期に応じて使い分け

- ・ 産後ケア事業

妊娠出産に伴う変化への適応

産後ケアの3つのタイプ



パートナーシップ型

夫婦やパートナー
産後パパ育休など



家族型

身内の協力者
里帰りなど



アウトソーシング型

産後ケア施設など

宿泊型産後ケア



専門チーム
による24時間
サポート

宿泊型産後ケア

安心して過ごせる環境で育児スタート



母体の
睡眠確保



栄養に配慮した
温かい食事



産後ケアの
必要性

産後の母体の回復
育児技術の獲得

児の発育の評価
栄養の確立

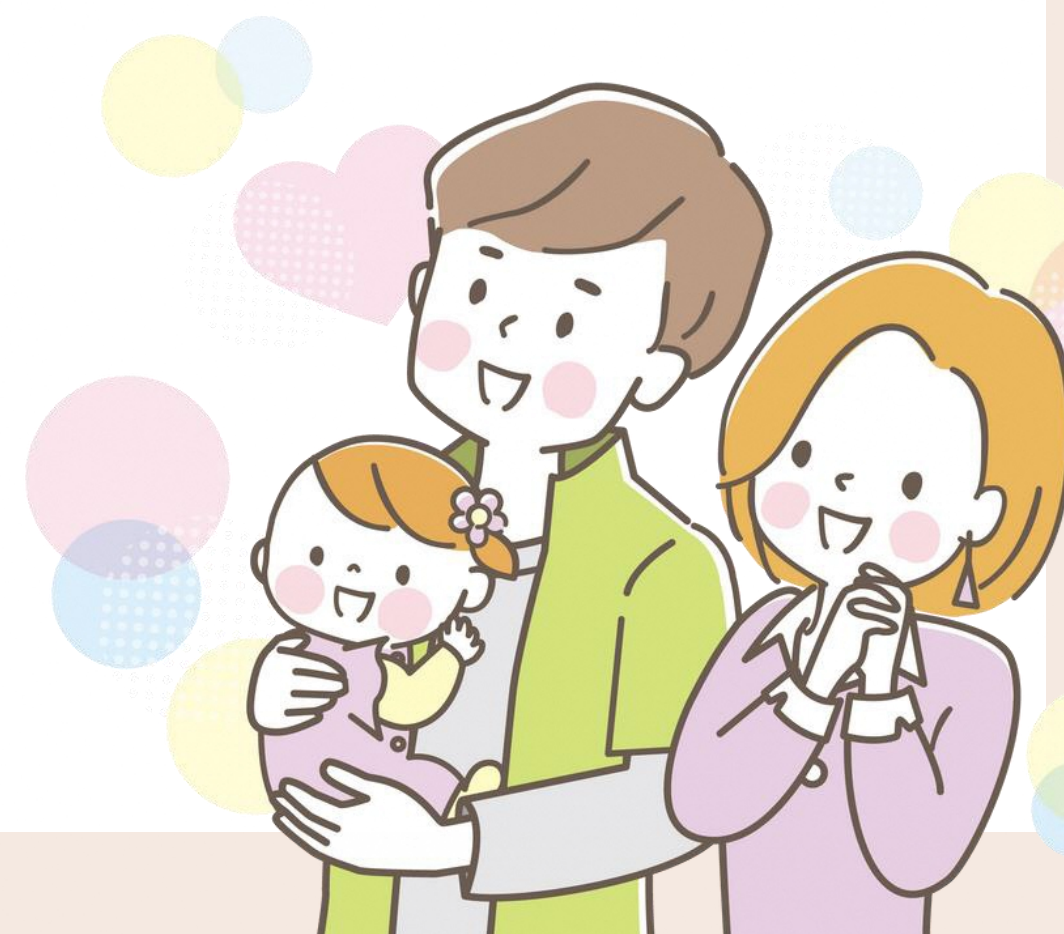


利用者の声

初めての育児で疲れていたのですが、**細やかにケア**していただき日中夜間ともに子どもを預かっていただけたのでとてもリフレッシュできました。育児についても不安な面が大きかったのですがアドバイスいただいで**不安な気持ちも解消**されました。

選んだ理由は、**父親のトレーニング**をしてくれるから。こちらのお願いを快く聞いてくださり育児トレーニングのも丁寧で感激しました。食事も美味しかった。いつでも**専門家に相談できる環境の安心感**がありました。**アメニティが整って**いて、迎え入れてる感が病院と違ってうれしかった。

初めての利用でしたが皆さんとても優しく、プロのアドバイスもありとても助かりました。初めての出産で心身の変化への戸惑い、赤ちゃんのお世話への疑問や不安など次から次へと湧いてきます。その都度、**小さなことでも相談できる**のはとても助けになり、休息が必要なときに赤ちゃんを預かってもらえることや**健康的な食事**も、産後の体の回復に本当に良かったです。お部屋もとてもリラックスできました。しっかり休めたので**赤ちゃんにも笑顔で接することができ**、これからの育児を少し感覚を掴んで望めそうなのも良かったです。



利用の現状

産後ケアの

利用は

1割未満（京都市



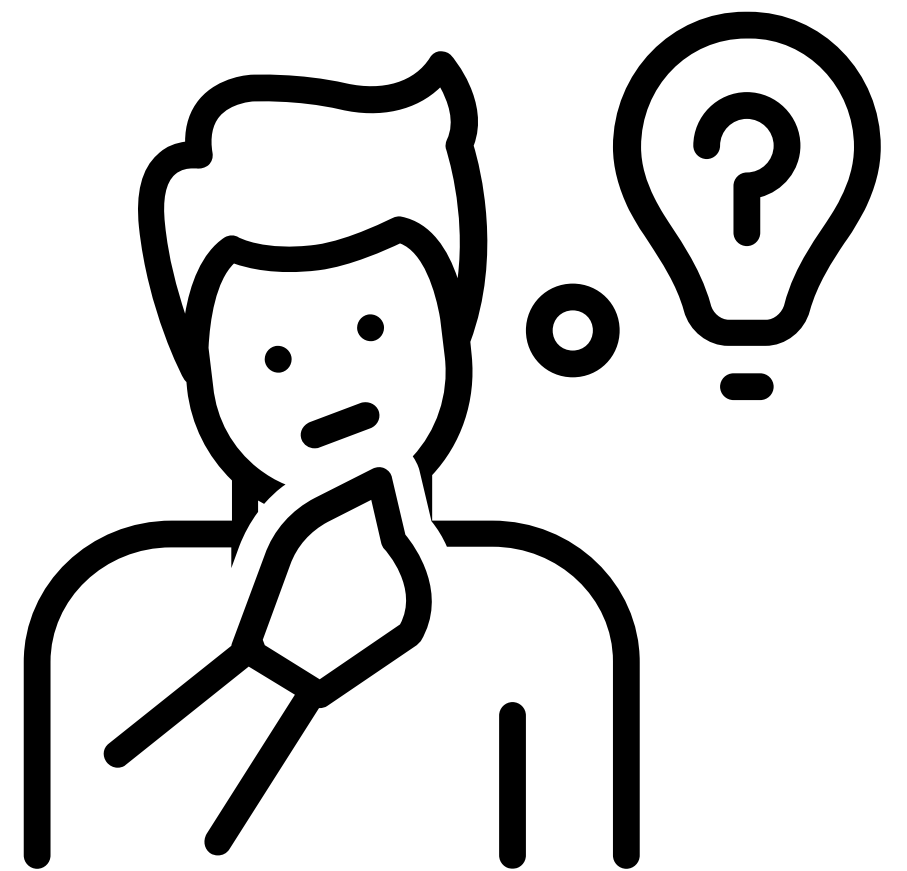
なぜなののか？

現場で感じる
リアルな声

金錢的問題

認知されて

いない



当事者だと感じて いない

「みんなやってるんだから...」

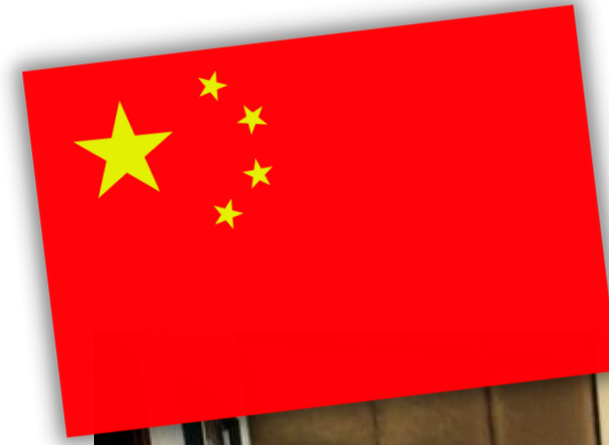
「母親ならできるはず」

「このくらいでは頼れない」



習慣の違い





お隣、
韓国・中国では既に根付いている

そこで...

母子手帳に 期待すること



- ・金銭的ハードル

⇒産後クーポンなどの添付

- ・認知を促す

⇒自身の産前～産後を可視化でき、産前に「産後ケア」に触れる機会をもつ

- ・当事者意識

⇒客観的に判断できる材料を
いずれは「産後ケア＝習慣に」



「産後ケア」
は
全ての産後
に必要



ありがとうございました

One::
Drop

代表
岩見 香織 いわみ かおり

事業内容

産後ケア施設baby.mam／マタニティパートナーズ／ユースカウンセラー／企業内シッターサービス／講師／執筆

助産師として大学病院でMFICU・産科・NICUに所属し12年間勤務し、妊娠・出産にまつわる女性や家族の様々な思いに触れる。その間に自身も出産を経験し、その後始まった育児が全く思い通りにならず、涙と迷いの中で大きく落ち込む日々を過ごす。

第3子出産を機に大学病院を退職し、母乳の相談や産後の集いをとおして母子サポートを行う。

子育て環境やこどもの育ちにも関心を持ち、「CAP(こどものへの暴力防止プログラム)京都支部」の立ち上げや、学校での性教育講師、小規模保育園での勤務を通し、様々なおとなやこどもと出会う。

出会った人たちと一緒に笑って生きる未来のため「私は私にできることをする」という思いを胸に、ONE DROPで活動中。

